

◆里山体験教室
昔から行われてきた里山の管理作業を体験します。

【伐採体験とミニほだ木作り】
ノコギリで木を伐採し、おみやげにシイタケのミニほだ木を作ります！

日 時：1月26日 (日) 10:00 ~ 14:00
対 象：小学生以上 (小学生は保護者と参加)
定 員：20名 (先着順)
参加費：300円 (保険代・材料代)
要申込：12月26日より受付中

◆里山ようちえん
カエル組・オタマ組

子どもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参、お茶とお菓子付き。
※参加対象年齢が異なりますのでご注意ください。

【カエル組】
日 時：2月2日 (日) 10:00 ~ 13:30
対 象：H31年4/1時点で満4・5歳児と親御さん
定 員：各回20名 (応募多数の場合は抽選)
参加費：親子2名で1000円、1名追加ごと500円
要申込：1月4日~1月17日までに

【オタマ組】
日 時：2月5日 (水) 10:00 ~ 13:30
対 象：H31年4/1時点で満2・3歳児と親御さん
定 員：各回20名 (応募多数の場合は抽選)
参加費：親子2名で1000円、1名追加ごと500円
要申込：1月5日~1月18日までに

◆ボランティア養成講座
さいたま緑の森博物館での年間を通してのボランティア活動を希望する方向けの連続講座です。狭山丘陵の成り立ち、管理作業の基礎などを学びます。ボランティア登録後は、当館内の園地整備協力、イベント運営協力、動植物の保全活動協力、スキルアップ研修での動植物観察などを行います。

日 時：①2月1日 (土) 10:00 ~ 15:00
②2月15日 (土) 10:00 ~ 15:00
③3月1日 (日) 10:00 ~ 15:00
対 象：中学生以上 (中学生は保護者と参加) 全3回参加可能な方
定 員：20名 (先着順)
参加費：300円 (保険代・全3回分)
要申込：1月4日から受付開始

※ボランティア登録後は、さいたま緑の森博物館内でのみボランティア活動ができます。

◆休日さとやま部
キャンプチェアをDIYしよう

里山の親しみやすい自然の中で、里山の材を使ったオリジナルのキャンプチェアをDIYで作ります！20代~40代限定のイベントです。

日 時：2月16日 (日) 10:00 ~ 15:00
対 象：20歳代 ~ 40歳代の方
定 員：10名 (先着順)
参加費：2500円 (材料代・保険代)
要申込：1月16日から受付開始

◆里山文化講座
~地域の昔遊びとたらしもち作り~

地域の里山の文化や習俗を体験する講座です。入間地域の昔遊びと、たらしもちを作ります。

日 時：3月8日 (日) 10:00 ~ 12:00
対 象：小学生以上 (小学生は保護者と参加)
定 員：20名 (先着順)
参加費：300円 (材料代)
要申込：2月8日から受付開始

◆みどり森ガイドウォーク

当日募集型のガイドウォークです。案内所から大谷戸湿地周辺のみどころを1時間程度でご案内します。テーマは当日になってのお楽しみ！

日 時：1月 5日 (日) 11:00 ~
2月 9日 (日) 11:00 ~
3月14日 (土) 13:00 ~
3月29日 (日) 11:00 ~
対 象：どなたでも
定 員：15名 (先着順)
参加費：無料
要申込：当日10時から案内所にて受付

雨が多かった2019年。2020年は？

2020年になり、今年はどんな1年になるのかわくわくしていることでしょう。

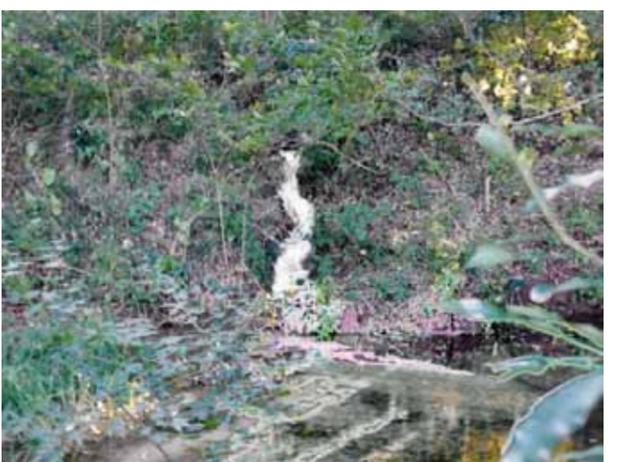
昨年を振り返ると雨が良く降った1年だと感じます。週末の度に雨が降り、みどり森の多目的広場はここ10年でも一番のぬかるみ様で、臨時駐車場として開けて車を止められない日々が続きました。

また、台風19号の大雨では園内のため池に勢いよく水が流れ込み、それにより大量の土砂も流入するなど、雨による影響を感じる事が多かったです。

雨が多いおかげでカタツムリの仲間は長い期間、観察することができ、カタツムリが大好きな私としては楽しい年でしたが…。

ふと、こうして狭山丘陵に降った雨はこの後どのように流れて行くのか？とても気になったので調べて中面の特集にまとめてみました。

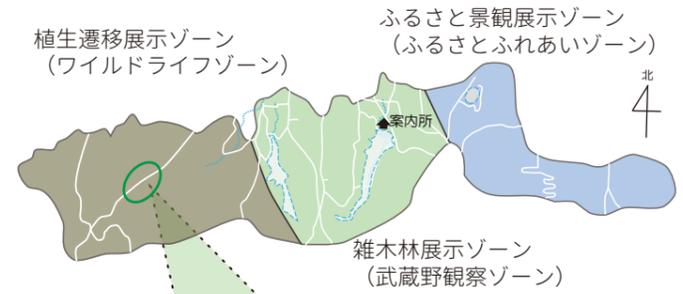
案内所の横を流れる川の名前も判明したので、是非読んでみてください!!



台風19号後の八幡湿地の大池に濁りができた

フィールドミュージアム みどり森 ⑦ ~お伊勢台周辺~

さいたま緑の森博物館 (通称みどり森) は、里山環境そのものを展示とした『フィールドミュージアム』であることが一番の特徴です。みどり森についてや園内の見どころをご紹介致します。今回は**植生遷移展示ゾーン (ワイルドライフゾーン)**の尾根道のお伊勢台周辺についてご紹介します。



植生遷移展示ゾーンは西久保湿地の西側に広がるエリアで、人の手を入れずに自然の遷移に任せるエリアです。開園以降は、大規模な伐採や草刈りを行わずにいます。林全体が大きく育ち、薄暗くなっています。この先、数十年と時間をかけて常緑広葉樹の森へと姿を変えていきますので、その様子をお楽しみください。



~アカマツの林~



~お伊勢台の祠~

【みどころ】
西久保観音の南西の尾根道を外周道路まで登るルートは、始めに畑の間を通り奥多摩や秩父山地が良く見える見晴らしがよい道です。天気が良いと日光の男体山さらには群馬の谷川岳まで見えることも。尾根道をさらに上がって林内に入ると、送電線の鉄塔より少し手前に祠が祭られている平らな場所があります。昔、お伊勢講を行った場所だと言われています。尾根を引き続き登って行くと、みどり森の中ではあまり見られないアカマツの木がまとまっているのを見ることができます。

博物館からのお知らせ

~散策時の注意事項~
園路に霜が発生する季節となりました。日中は霜が溶けて園路がぬかるむことがあり、滑りやすくなる場合がありますので、注意して散策をしてください。また、木の橋でも朝や日陰の場所は凍って滑ることがありますので、ご注意ください。積雪時や降雪時は、無理な散策はなさないよう、お願いいたします。

博物館の利用案内

◆緑の森博物館の利用ルール◆
緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物 (外来種) を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

■公共交通機関をご利用の場合■
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分「荻原バス停」下車、徒歩約10分

■案内所までの地図■
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)

■ご来館時のお願い■
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。

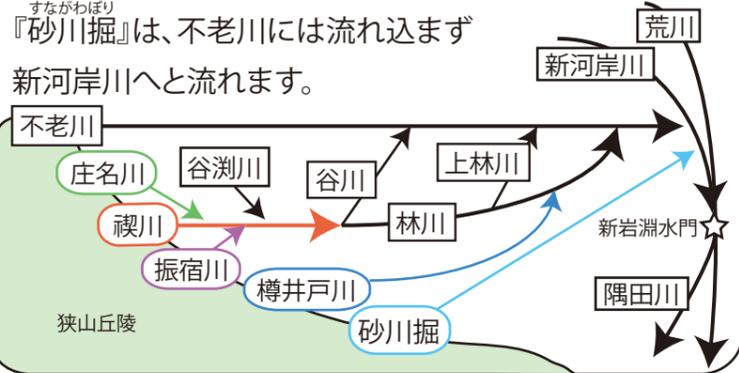
発行年月	2020年1月	開館時間	9:00 ~ 17:00 【入館無料】
発行	さいたま緑の森博物館	休館日	月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
住所	〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1	公式HP	http://saitama-midorinomori.jp/
TEL/FAX	04-2934-4396	指定管理者	株式会社自然教育研究センター

みどり森から流れる川はどこへ行く？

みどり森に降った雨は谷戸と呼ばれる地形に染み出て集まり、流れを作り出しています。今回は、この水の流れはどうなっているのか調べてみました。

～みどり森から荒川水系へ!!～

みどり森からは5つの流れがあります。『庄名川』『禊川』『振宿川』『樽井戸川』は、不老川に合流します。その先、新河岸川を経て隅田川(荒川水系)に合流し海へと流れます。『砂川掘』は、不老川には流れ込まず新河岸川へと流れます。



～狭山丘陵を生み出した大昔の流れ～

みどり森から流れている川は荒川水系ですが、今から約50万年前は多摩川水系だったといわれています。この古多摩川と呼ばれる流れが氾濫を繰り返しながら今の『不老川』や『柳瀬川』あたりを流れていたそうです。1万3千年前から2万年前に立川断層の隆起が起こり、北東方向の流れが南東方向となり、狭山丘陵が削りだされたと考えられています。

★狭山丘陵の川 マメ知識★

狭山丘陵から流れるほとんどの川は新河岸川に流れますが、唯一瑞穂町の『狭山池』から流れる『残堀川』だけは多摩川に流れます。

文	小学校	〒	郵便局
卍	寺	㊤	コンビニ
卍	神社		

★狭山丘陵の川 マメ知識★

不老川はもともと「としとらず川」と呼ばれ、伝説によると「立春の晩不老橋の下で夜を明かすと年を取らない」というのです。ちょうど立春の頃、川の水が涸れ流れが年を越さないことからそう言い伝えられています。

～みどり森から流れる5つの川～

～たくさんの細い流れ庄名川～

みどり森の一番西のエリアから流れている細い流れは、古くは別々の呼び名があったようですが、現在はそれらを統合して庄名川と呼ぶようになりました。支流源流部に住む方の話だと、庭を流れる水を井に引き入れ、米とぎをしたり藍染めの布を濯いだりと生活には欠かせない水だったそうです。

～絶えず流れる禊川～

西久保湿地とその西にある谷戸から流れ出て、出雲祝神社や西久保観音の近くを流れています。神社仏閣の近くを流れることから、古くは禊に使われていたのではないかとされています。みどり森の中では水量が多く、涸れたところを見たことはありません。

～昔の暮らしを見られる振宿川～

大谷戸湿地と景勝宮寺八景の中の大聖寺秋月に描かれている滝壺辺りから流れています。昔は大谷戸湿地とその西の谷戸では田んぼが開かれ、今でもかすかに畔の跡を見ることができます。流れが合流する西勝院には、昔この地域を統治する『宮寺氏』の館がありました。館の周りに土塁を築き外側をお堀のように振宿川が流れています。

～流れ出しを見られる樽井戸川～

糀谷八幡湿地と山ノ上神社近くから流れ、みどり森の園内で唯一、流れ出しを見ることが出来る川です。流れ出しは湿地の東の『奥池』と正面の『大池』です。かつては他にも大池の西側に2つ小さな池があり駐車場より下(北側)まで田んぼでした。樽井戸川の流れは農業用水として下流の村でも使われていたので、干ばつの時などは、夜に下流の村人が勝手に堰を開け水を流すなどもめごとがあったそうです。

～昔ながらの河畔が残る砂川掘～

みどり森からの流れで唯一、不老川に合流しない川です。源流部には『堂入りの池』があり、近辺に住んでいる方のお話だと昔から「深くて危ないから遊びに行くな」と言われていたそうです。流れは早稲田大学の横の三ヶ島湿地を通り、クロスケの家の裏を流れます。クロスケの家から少し下流の区間は昔ながらの河畔の様子を見ることができます。

【参考図書・文献】
 ●入間市役所みどりの課 (2003) 元気な入間ふれあい茶心歩道 ●入間市博物館 (2002) 入間市博物館紀要 第2号
 ●狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡協議会 勅使河原方 狭山丘陵を市民の森にする会 池谷方 (1986) 雑木林博物館構想
 ●不老川流域づくり市民の会 不老川だより 川のささやき No.28 No.63 No.66 No.68 ●不老川流域づくり市民の会 (1999) 不老川 川づくりまちづくりマップ
 ●不老川流域づくり市民の会 (2017) 不老川 お宝マップ ●国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務局 (2008) 荒川読本
 ●トロのふるさと基金 自然環境調査報告書 9: 40-52. 小黒・相澤・大貫・亀石・長谷川(2012) 狭山丘陵の湧水 丘陵地の湧水の1つのタイプについて